

# 健康友の会みみはら第33回総代会議案 (2020年度活動方針〈案〉)

## メイン スローガン

### つながりひろげ、誰もがその人らしく気持ちよくくらせる、ふれあい支え合いのまちをつくろう

### ☆新型コロナウイルスの感染拡大を全力で防ぎ、命とくらしを守ろう！

## 2020年度 重点課題

- ① 「地域まるごと健康づくり」と「フレイル予防」(加齢による心身の虚弱予防)を活動の柱に、「楽しい友の会活動」でつながりをひろげ、仲間をふやそう。
- ② 「担い手」をふやして、友の会の輪をひろげる取り組みをすすめよう。
- ③ 「ふれあい支え合いのまちづくり」活動を支部・ブロック単位でひろげよう。
- ④ 班を基礎に、支部を単位に、ブロックでの連携をすすめよう。
- ⑤ 憲法をくらしに生かし、平和(9条)と人権(13条)・いのちとくらし(25条)を守って、誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざそう。
- ⑥ 自治体や地域と連携し、みみはらグループの医療・介護・福祉の安心ネットワークをひろげよう。

### 「地域まるごと健康づくり」と「フレイル予防」をひろげ、健康づくりをすすめます

- 「新型コロナウイルス」の感染拡大を防ぎ、命とくらしを守ります。  
・感染予防の学習とともに、会員の孤立・事故を防ぐ安否確認の取り組みをすすめます。
- 「フレイル予防」や「認知症予防」を重視した班会・サークル・健康講座の取り組みをすすめます。
- 「健康チェック」活動を重視し、5大がん検診をはじめとした健康診断の受診につなげます。
- 地域の会館や公的施設を利用した「健康チェック」や「健康講座」などに取り組みます。
- 「健康チャレンジ」は、支部、事業所での取り組みを強め、1,500人のエントリーをめざします。

### 会員と「担い手」をふやして、友の会の輪をひろげます

- 「つながり」をひろげ、3,000人の仲間ふやしに再度チャレンジします。
- 「協同基金」は、小口多数を意識して、件数目標20,000件・金額目標25,000万円とします。
- 「担い手ふやし」では、「友の会学校」「新入会員歓迎会」などを開催し、「友の会大好き会員ふやし」・後継者づくりをすすめます。
- 「いつでも元気」は、各支部・職場での活用の工夫を行い1,300部の普及をめざします。
- 共同組織拡大強化月間(9月~11月)に向け、「秋の強化月間スタートダッシュ集会」を予定します。
- ◎ 「とも」の配布者ふやしと紙面の充実をさらにすすめます。
- 紙面充実に向け、ブロック単位の編集委員選出や支部での取材協力者づくりをすすめます。
- 昨年度のクイズやお便りの応募方法変更引き続き、「より参加しやすい紙面づくり」をめざします。
- 「10部を超えたら配達者さがし」を合言葉に、1,200人の配達者ふやしに取り組みます。
- 「配達者懇親会」を引き続き開催し、配達者の交流を通じてネットワークづくりをすすめます。

### 「ふれあい・支え合いのまちづくり」活動を支部・ブロック単位でひろげます

- ◎ 「地域の福祉力」を育み、安心のネットワークをひろげます。
- 今年度も「お元気ですか訪問」に取り組みます。
- 地域での見守り活動をすすめる為、「10,000人の対話運動」に取り組みます。
- 支部は、地域の「相談窓口」になれるよう、くらしの制度や認知症などの学習会を計画します。
- たまり場・センターに地域の人が気軽に足が運べるよう、月~土曜日の開所をめざします。
- 「助け合い活動」は、介護事業所や自治会などと連携し、助け合いのネットワークを強化します。  
・「ワンコイン助っ人隊」は支部・ブロック単位での展開をすすめます。  
・「おでかけ助っ人隊」の利用をひろげ、「交通弱者」「買い物難民」への取り組みを強めます。

### 班を基礎に、支部を単位に、ブロックでの連携をすすめます

- ブロック・支部を中心とした組織運営に努め、地域要求に根差した運営方針(行政との懇談・子ども支援・居場所づくり、助け合い事業など)をすすめます。
- 「班会」は、たまり場に加え、地域の集会場や会員宅などでも積極的に開催し、あらゆる世代の要望に見合った「多世代型」の班会開催をめざします。
- 「班会」開催をすすめるために、「班会・班活動交流会」の開催を検討します。  
・班づくりは200班、班会開催は2,000回をめざします。
- 「支部ふやし・支部づくり」は、堺区・北区などの空白地域での支部づくりと1,000世帯を超える支部での分割(支部ふやし)をめざします。
- 会員の生活圏や交流地域に基づいた支部エリアの見直し・再編に着手します。
- 事務局の地域専任を補充するとともに、会員がブロック・支部の「主体」となる体制づくりをめざし、担当者力量向上に努めます。

### 憲法をくらしに生かし、誰もが安心して住み続けられるまちづくりをすすめます

- ◎ 社会保障・反核平和・まちづくり活動
- 憲法を変えさせない「安部9条改憲No!改憲発議に反対する全国緊急署名」の早期の目標達成に向け、運動を強めます。辺野古新基地反対、米軍基地撤去の運動に引き続き取り組みます。
- 平和行進、原水爆禁止世界大会in広島に向けて、ヒバクシャ署名の取り組みをさらにひろげます。
- 原発ゼロ・自然エネルギーへの転換をめざす運動を環境問題も含めてすすめます。
- 消費税10%やカジノ、統一国保問題など、私たちのくらしに直結する悪法に反対し、格差と貧困、子どもの貧困、高齢者支援に取り組みます。
- 南海トラフ地震に備え、国や自治体との連携を強め、「災害・防災に強いまちづくり」に取り組みます。
- 安心して住み続けられるまちづくりをすすめる為、友の会として他団体への働きかけを積極的に行います。
- 社保協に結集し、地域や職場の具体的事例を持ち寄って自治体キャラバン行動のぞみ、社会保障充実に向けて取り組みます。

### 地域・みみはらグループと友の会活動の連携をすすめます

- ◎ 「耳原実費診療所から70年」の年。  
・あらためて「誰のために、何のために、何を」組織なのかを考える年とします。
- 法人の「事業所利用委員会」の立ち上げに伴い、友の会としても積極的に参加していきます。
- 地域要求に積極的にこたえる為、みみはらグループの事業所づくりや運営への参加を強め、それを担う職員育成にも積極的に関わっていきます。
- 支部・地域での「お元気ですか訪問」や「10,000人の対話運動」などの取り組みを通して、無料低額診療事業の紹介を行うとともに、引き続き「いのちの募金」に取り組みます。



長尾 加代

西區浜寺石津町  
蓼内 まゆみ (44歳)  
いつも参考になる記事が多いです。花粉症について、とても参考になりました。会員さん紹介の記事、とてもよかったです。

参考になる記事多い  
和歌、俳句、川柳、うんと考えたり、なるほどと思ったり、楽しんでいきます。2ヶ月お休みの林研さん、俳句、待っています。

俳句、待っています  
P子 (63歳)  
4月から西宮の高校に通います。ウィルスが大拡大で大変です。早く収まれ、皆、頑張れ!!

早く収まれ  
交野市  
宇野 双葉 (15歳)  
西區上野芝向ヶ丘町  
宮下 俊彦 (71歳)  
「新型コロナウイルス」のように、時に即した感染予防策、対症療法は特に目を配ります。



西岡 聖子

時に即した  
富田林市  
馬場 義伸 (67歳)  
石田教授の講演記事  
役立つ外来診療表  
西區風中町  
小栗 文彦 (78歳)  
耳原病院の外来診療表は、役に立っております。

河内長野市  
駄馬中 光 (79歳)  
戦争体験記、本当にむごい話です。改めて、戦争は許さないと憲法9条の大切さをかみしめています。

練習の参考に  
堺区西湊町  
芹生 幸一 (77歳)  
お便りコーナーの絵手紙がすてきです。私も練習し始めていますので、参考にさせていただきます。



小寺富美代

上がるのだと。  
日本。被害と被害の公的記憶が根づいた時に、安倍や日本会議などの歴史認識を許さぬ、日本の風土ができていくのだと。

石田教授の講演記事  
富田林市  
馬場 義伸 (67歳)  
石田勇治東大教授の講演の記事を読んで思います。「加害の歴史認識」が低い日本。被害と被害の公的記憶が根づいた時に、安倍や日本会議などの歴史認識を許さぬ、日本の風土ができていくのだと。